

執筆要領 (2023.10.1 施行)

1. 論文の構成は、**標題**、**著者情報**、**抄録**（要旨、日本語）、**キーワード**（日本語・英語）、**本文と文献**、**図・表**とします。

2. 投稿時には、**論文種別**（原著論文、実践報告など）、**標題**（日本語）、**著者名**（5名まで、日本語）、**職種英文略称**、**著者全員のメールアドレス**、**所属機関名**（日本語）、**分野**、**キーワード**（日本語・英語。作業療法キーワード集（日本作業療法士協会ホームページより参照ください）にない日本語キーワードにはカッコを付けてください。英語キーワードはカッコ不要です）、**利益相反**（COI）、**助成金**（資金援助）、**著者ごとの役割**（責任著者も明記）、**謝辞**などの情報を登録する必要があります。なお、倫理上の配慮については下記の8を参照してください。

3. 抄録（要旨、日本語）は、すべての論文に必要です。**日本語の抄録（要旨）**は300字以内とします。抄録（要旨）は、原則として、目的、方法、結果、結論が明らかになるように記述してください（特に「原著論文」の場合）。見出しを用いて記載する場合は、【】を用いてください（例【目的】）。

4. 本文と文献はMS-Wordで作成し、A4サイズ横書き40字×40行（印刷の向きは縦）に書式設定し、フッターにページ番号を挿入して、文字サイズは10.5ポイント、書体はMS明朝としてください。本文は、原則として、目的、方法、結果、考察、結論が明らかになるように書いてください（特に「原著論文」の場合）。文献リストの書き方は下記の9を参照してください。本文中の倫理審査、COI、助成金情報等の記載において、個人名や所属機関名等はブラインドにしてください。（例 共同著者のAはB株式会社と共同研究を行っており、旅費等の助成を受けている。）

5. 投稿承諾書の書き方について

- 1) 学術誌「島根県作業療法士会 学術誌」投稿承諾書を島根県作業療法士会ホームページの学術部ページよりダウンロードしてご使用ください。
- 2) 論文種別（該当する種別に☑）、論文題名、筆頭著者署名（自筆）、承諾事項（承諾のうえ☑）、を記入してください。
- 3) 職場の倫理委員会による倫理審査を受けていない場合は、施設長または部門の責任者の同意日、施設名、署名（自筆）が必要になります。
- 4) 投稿原稿とともに投稿承諾書をメールに添付し、提出してください。

6. 文章表現は以下の点に留意してください。

- 1) 現代かなづかい・算用数字とし、国際単位系（SI 単位）記号を用いてください（例；m, cm, mm, ml, kg, cm² など）。
- 2) 外国人の人名は、原語で表記してください。
- 3) 学術用語はできるだけ訳語を用い、必要なら（ ）内に原語を入れてください。日本語化していればカタカナとします。
- 4) 本文中の句読点は、全角のカンマ（,）とピリオド（.）を使用してください。
- 5) 本文の見出し順位は、以下のとおりとする。
I. II. III
1. 2. 3.
1) 2) 3)
(1) (2) (3)
- 6) 略語を用いる場合は、初出で正式用語とともに提示し、その後の略語を用いることを明記する。

7. 倫理上の配慮について

論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従っている必要があります。職場の倫理委員会を通していただくことが望ましく、倫理委員会名の正式名称および承認番号を投稿原稿本文に記載してください。（例 A 大学病院の倫理審査（承認番号 123456）を受けた。）倫理審査を受けていない場合は、所属長あるいは病院長が投稿を承認している必要があります。本文中に記

載してください。（例 本投稿について、所属長の承認を受けている。）また、**対象者が投稿に同意**している旨は、本文中に記載してください。**個人情報保護**のため、対象者の入院施設等は施設名を記載せず、「A 病院」等のブラインド記載、あるいは総合病院、精神科病院、介護老人保健施設等の名称で表現してください。また、写真などを掲載する際は、本人より許可を得たうえで、個人が特定できないようご配慮ください。

8. 引用・転載について

論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行ってください。論文中に他の著作物からの引用を行う時には、出典を文献リストに記載し、その文献番号を該当箇所に明記してください。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文掲載に必要となる「転載」についての手続きは、著者が責任を持つこととします。

9. **文献リスト**は引用文献のみとし、引用順に配列してください。著者は、5名までを記載して、6名以上は“、他”（または“、et al”）とし、表記の形式は下の記載例にならってください（雑誌名は正式な文献略称〔海外誌は PubMed に準拠〕で表記）。和文誌の場合は、記号（カンマ、ピリオド）も含めて全角、英数字とページ数表記（例 pp.82-87）のみ半角としてください。欧文誌の場合は、記号も含めてすべて半角としてください。下記の例以外は日本作業療法士協会ホームページの学術誌ページで**文献リスト記載ガイド**を参照してください。

例 1) 【和文雑誌】 著者：論文タイトル. 雑誌名 巻数（号数）：開始-終了ページ，発行年.

能登真一，村井千賀，竹内さをり，岩瀬義昭，中村春基：地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果—多施設共同ランダム化比較試験—。作業療法 33(3)：259-269，2014.

例 2) 【和文書籍】 著者：章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修，書名（巻数）版数，出版社，発行年，pp.（開始-終了ページ）または p.（単ページ）.

澤田雄二：作業療法ガイドライン。日本作業療法士協会・監修，作業療法概論（作業療法学全書 1）第 3 版，協同医書出版社，2010，pp.52-59.

例 3) 【欧文雑誌】 著者：論文タイトル．雑誌名 巻数（号数）：開始-終了ページ，発行年．

Law M, Baptiste S, McColl M, Opzoomer A, Polatajko H, et al: The Canadian occupational performance measure: An outcome measure for occupational therapy. *Can J Occup Ther* 57(2): 82-87, 1990.

例 4) 【欧文書籍】 著者：章タイトル．In 書籍の編者（ed または eds），書名（巻数）版数，出版社，発行都市，発行年，pp.（開始終了ページ）または p.（単ページ）．

Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J(ed), *Occupational therapy and mental health*, Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.

例 5) 【翻訳された書籍】 著者（訳者・訳）：章タイトル．書籍の編者・編（監訳者・監訳）または監修者・監修，書名（巻数）版数，出版社，発行年，pp.（開始-終了ページ）または p.（単ページ）．

Schwartz K（清水 一・訳）：身体障害への介入に見る歴史と実践の流れ. Pendleton HM, Schultz-Krohn W・編著（山口 昇，宮前珠子・監訳），*身体障害の作業療法 第 6 版*，協同医書出版社，2014，pp.23-33.

例 6) 【和文 Web ページ】 ページ作成者：ページタイトル．URL（参照参照日）．

日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針.
https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/（参照 2020-06-15）．

例 7) 【欧文 Web ページ】 ページ作成者：ページタイトル．URL(accessed 参照日）．

World Federation of Occupational Therapists: About occupational therapy.
<https://wfot.org/about/aboutoccupational-therapy> (accessed 2020-12-15).

例 8) 【発行前にオンライン公開された雑誌】 著者：論文タイトル．雑誌名，doi [published online ahead of print 公開日]．

Ceravolo MG, Arienti C, de Sire A, Andrenelli E, Negrini F, et al:
Rehabilitation and Covid-19: The Cochrane Rehabilitation 2020 rapid living systematic review. *Eur J Phys Rehabil Med*, doi: 10. 23736/S1973-9087. 20. 06501-6 [published online ahead of print July 24, 2020].

例 9) 【オンラインジャーナル（Web 公開のみの雑誌）】 著者：論文タイ

トル. 雑誌名 巻数 (号数) : Article ID, 発行年, doi.

Nuño L, Guilera G, Coenen M, Rojo E, Gómez-Benito J, et al: Functioning in schizophrenia from the perspective of psychologists: A worldwide study. PLoS ONE 14(6): e0217936, 2019, doi: 10.1371/journal.pone.0217936.

10. 図・表の文字サイズは8ポイント, 書体はMSPゴシックとします. 学術誌『島根県作業療法士会 学術誌』の1ページを図・表の最大サイズとし, 最大で165 mm×250 mm (本文と文献の2,000字分) で作成してください. 次の点にも留意してください.

- 1) 図は白黒で鮮明なものを準備し, そのまま製版することを想定した大き
さで作成してください.
- 2) 写真 (図として扱う) は, カラー掲載しないため白黒印刷でもわかるよ
うに, トリミングなどを工夫してください.
- 3) 図・表はすべて番号とタイトルをつけ, 必要があれば説明文も入れてく
ださい. 番号・タイトル・説明文も図・表のサイズに含まれます.
- 4) 本文中に図・表の挿入場所を記載してください (例: …の結果を図1に
示す. または …の結果を示す (図1). など)
- 5) 引用・転載の図・表は, それぞれの出典を明記してください.
- 6) 必要がない限り, 表に縦線は使用しないでください.
- 7) 図のカラー印刷は, 原則行いません (必要な場合は学術誌編集委員会へ
お問い合わせください)